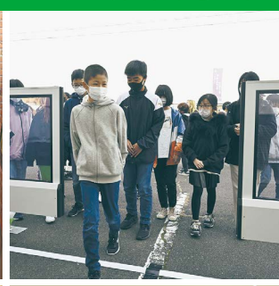
企画・制作
朝日新聞社メディアビジネス局 広告特集

地球教室®

地球にやさしい未来を、みんなで。

出張授業や体験型イベントなどを通して、国内外の環境問題を身近に捉えてほしい、持続可能な未来のために行動する人に育ってほしい――。15年目を迎えた朝日新聞の環境教育プロジェクト「地球教室®」。今年も、学校・行政・企業が一体となって、子どもたちとともに様々な視点から地球環境について考えました。



未来につながる環境教育を

2022年度の活動

オリジナル環境教材の製作・配布

2022 4月

朝日新聞社が製作した教材約26万部を、全国の小学校や団体に無料配布。

テキスト『地球教室2022』

「基礎編／応用・研究編」として、多様な情報を1冊にまとめた教材です。環境問題を総合的に学ぶことができます。

基礎編監修 小林 光（東京大学 教養学部 客員教授）
応用・研究編監修 小森栄治（理科教育コンサルタント）

「かんきょう新聞」の募集

2022 7月

環境について学ぶなかで、興味を持ったこと、考えたことを伝える「かんきょう新聞」の募集を開始しました。

環境教育イベントの開催

2022 9月

独自の環境活動を展開する企業や、環境問題の専門家を講師に招き、全国各地で様々な双方向型イベントを開催しました。

かんきょう1日学校

2022 9月23日

東京・有楽町で行われ、会場に73人、オンライン配信224人の子どもたちが参加しました。記者のレクチャーを受けた子どもたちは、企業の環境活動を学び、「かんきょう新聞」づくりのための取材にも挑戦しました。

地球教室出張授業

2022 11月～2023 2月

環境活動に注力する企業と朝日新聞社の記者たちが、全国の小学校など11カ所で合同出張授業を開催。国内外の環境問題を伝えました。

◀出張授業の様子は次のページ（広告紙面）から

「かんきょう新聞」の優秀作品を発表

2023 2月

応募総数 8,518作品

子どもたちの優秀作品を本日発表します。▼

各協賛企業のテーマに沿った「かんきょう新聞」は、夏休み・冬休みの宿題などにも利用され、8518作品の応募がありました。応募してくれた子どもたち全員に参加賞をプレゼント。

参加賞①

参加賞②

▶22年度の参加賞は選べる2タイプ。①苗木　お贈りする苗木は、写真とは異なる場合があります。／②材木加工時の端材で作られた「環のはし」です。「環のはし」は、500膳ごとにプレゼントツリーとして国内の山林に1本植樹されます。

感染予防対策として、今年度もかんきょう1日学校と出張授業（一部）でオンライン授業がありました。

かんきょう新聞優秀作品

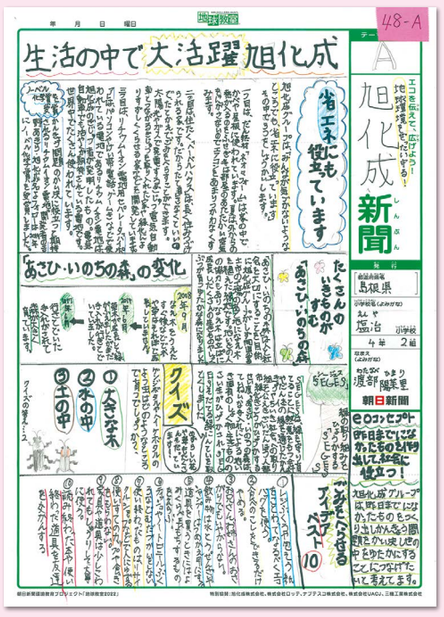
選出された全ての優秀作品と入選作品は、地球教室®ウェブサイトで公開中　朝日新聞 地球教室　検索

旭化成賞

「地球環境をぜったい守る！旭化成新聞」

出雲市立塩冶小学校（島根県）
4年 渡部陽茉里さん

環境問題解決のための旭化成の取り組みに着目し、詳細をまとめた。工場跡地で守り育てる緑地が豊かな森になっていることも紹介した。



● 旭化成からのメッセージ
しっかり調べてまとめてくれたこと、そして「ごみを減らせるアイデアベスト10」は、渡部さんならではのアイデアに心を奪われました。子どもも大人も企業も、みんなが協力して美しい地球を守っていきたいですね。

ロッテ賞

「ロッテのお菓新聞」

福島市立清水小学校（福島県）
5年 小池翔太郎さん

ロッテのお菓子についている環境に配慮した商品を示すマークを解説。また、かむことの大切さとともにガムのリユース容器に着目した。

● ロッテからのメッセージ
本当に力作ぞろいで良い意味で混沌とした審査になりました。ご応募に感謝申し上げます。今回、訴求したいテーマがわかりやすく独自の視点を持つ作品を評価しました。身近なお菓子を通して、環境について考えるきっかけとなれば幸いです。

ナブテスコ賞

「エコをすすめるナブテスコ新聞」

練馬区立立野小学校（東京都）
5年 大山大雅さん

ホームドアや自動ドアがどんなことに配慮して作られているかを調べ、環境問題への取り組みは「人にもやさしいもの」とまとめた。

● ナブテスコからのメッセージ
見出しや文章にオリジナリティーがあり、読者を惹きつける内容にまとめられていました。中でも、自分なりに調べたことや考えたこと、経験などを交えて、ナブテスコの事業や製品のエコやSDGsとのつながりを深掘りしてまとめられていた点が素晴らしかったです。

UACJ賞

「株式会社UACJ新聞 ～アルミニウムを通して、持続可能で、便利な社会へ～」

岡山市立竜之口小学校（岡山県）
6年 坂瀬悠真さん

UACJの業務を通して、アルミニウムの性質や使われている製品、リサイクルについて説明。地球のために自ら取り組めることも挙げた。

● UACJからのメッセージ
UACJが目指す「アルミニウムを究めて環境負荷を減らし、軽やかな世界へ。」について、テキストで紹介した取り組み以外についても深く調べ、「究める」とはどういうことか自ら考え、わかりやすくまとめてくれました。太陽光発電の導入など、具体的な取り組みにも言及し、納得しながら読み進めることのできる構成も素晴らしいです。

三機工業賞

「くらしをカイテキに三機工業新聞」

鎌倉市立西鎌倉小学校（神奈川県）
4年 横川志帆さん

三機工業の空調設備や電気設備に注目し、「身近なところで活躍している」と紹介。環境に配慮した電気を届ける仕組みを伝えた。

● 三機工業からのメッセージ
三機工業の取り組みの紹介から地球温暖化の問題提起、自身が注目している技術や自分の考えまでよくまとめています。さらに、身近な省エネの取り組みを独自に調べ、数値表記することで説得力を持たせているのがとても素晴らしいです。

取材をもとに"地球の現状"を伝える 朝日新聞記者の授業

エコ活動に取り組む企業とともに、記者10人が国内外の環境問題を解説しました。

竹野内崇宏

楽しく、難しい問題を考えよう
牛のげっぷやクジラのうんちで地球の温度が変わるかも。台風の被害や、海に沈む家を減らすにはどうすれば。楽しく、難しい問題を考えられる新聞を作ります。

小坪 遊

身近な環境を調べてみよう
数を減らしている生き物や、厄介な侵略的外来種は、私たちの身近なところにもいます。生物多様性を守るための一歩を、知ることから始めませんか。

香取啓介

意識することで社会は変わる
地球温暖化を学び、周りと話してみてください。解決しようとする人やグループを応援してください。一人ひとりが意識することで社会は変わっていきます。

中山由美

生き物たちみんなの地球を大切に
私たちは自然のめぐみに生かされています。なのに自然を汚して壊してばかり。地球は人間だけのものじゃない、生き物たちみんなの地球を大切にしましょう。

中村浩彦

日常の取り組みでSDGs達成を
私たちがずっと地球で暮らしていけるように世界共通で目指す目標が「SDGs（※）」です。目標達成のために、日常でできる取り組みを一緒に考えていきましょう。

杉本 崇

プラスチックとどう付き合うか
プラスチックは生活を便利にしますが、自然環境中に流出すると生態系に影響を与えます。そんな素材とどう付き合っていくか、子どもたちと一緒に考えました。

水戸部六美

未来のためにできることをする
授業を受ける皆さんの真剣なまなざしをみて、私も未来のためにできることをやらねばと強く思いました。一緒に持続可能な社会を目指しましょう。

石井 徹

地球を救うために、一緒に頑張ろう!
地球教室では、いつも「君たちはヒーローだ」と話す。地球の危機を救えるのは若い世代だからだ。これからは私のようなシニア世代も頑張る。一緒にヒーローになろう!

杉浦奈実

身近な問題は世界にもつながる
近所で見かけた生きものは元々どこから？道ばたのごみはどこに行く？　身近な問題は世界にもつながっています。できることを一緒に探してもらえたらうれしいです。

□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□

※エスディジーズ：持続可能な開発目標

ESD 活動支援センター賞

「PUU新聞」

関市立旭ヶ丘小学校（岐阜県）
6年 須甲さくらさん

世界の貧困や貧しい子どもたちのために活動する企業について調べた。自らも学校で呼びかけ、着なくなった服を難民へ送る活動に参加した。

● ESD活動支援センターからのメッセージ
「何のことだろう?」と思わせるタイトルが目を引きますね。SDGsの中でも、日本では自分ごととして考えることが難しい貧困の問題に向き合い、服を届けるという行動を起こしたこと、さらに全校児童や保護者に協力を呼びかけたことが素晴らしいと思います。

優秀学校賞も選出　多くの秀作をご応募いただいた大垣市立青墓小学校（岐阜県）が受賞しました。

特別協賛　AsahiKASEI　お口の恋人 LOTTE　Nabtesco　UACJ　三機工業

協力　ESD活動支援センター

主催　朝日新聞

後援　環境省　文部科学省

「地球教室®」事務局 朝日カルチャーセンター　E-Mail:chikyu@asahiculture.com または FAX:03-3344-4876　2023年度「環境教材」「出張授業」の申し込み要綱は、決まり次第本紙とウェブサイトでお知らせします。

【地球教室®ウェブサイト】 https://www.asahi.com/chikyu/